



## いきがい大学校友会連絡協議会

平成 29 年

6 月発行

## 県連協ニュース

それは「見つめよう、自分の中の可能性！」  
心が意識をつくり、意識が態度を決める。  
態度が行動を決め、行動が習慣を決める。  
習慣が運命を決め、運命が人生を決める。  
心の持ち方ひとつで人生を豊かにできるの  
だと。県連協は各連協の運命共同体であり、  
欧洲での EU と同じようなもの。立場も対等  
(フラット) であって、お互いを尊重し合い  
ながら、共通の問題点や課題を解決して行き、  
楽しく明るい暮らしを続けて行きたないと願  
う人達の集まりだと認識しております。

ろうと思いました。

か不安ですが、川越  
学園に入学した時か  
ら心がけている事を  
想い出し、原点に帰



## 県連協会長としての抱負

玉岡 福彦

平成 29 年度の総会に於いて、県連協会長  
に選任されました。が、

歴代会長のような力  
リスマ性や貴禄もない私に務まるかどうか

この精神で県連協会長として全身全霊を  
持つて努力いたします。  
会員数の減少に悩む各連協の方々、そして  
一人ひとりの会員の声なき声にも耳を傾け、  
より充実した活動を通じて、明るく、楽しく  
暮らし続けたいものと思つております。

そのことを実践するためにも調和と協調  
が大切ではないかと。  
福井県の永平寺の台所に 2 メートル近い  
大きな擂粉木がぶら下がつていて、側に短冊  
が添えてあって「身をけずり 人につくさん  
すりこぎの その味知れる 人ぞ尊し」と書  
かれておりました。以来、私はこの言葉を大  
切にし、自らのポリシーとして、仕事にプラ  
イベートに実践してまいりました。

この精神で県連協会長として全身全霊を  
持つて努力いたします。

平成 29 年度県連協									
役員									
理事	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	会長
松村 昌男	佐藤 健一	倉兼 敏昭	金子 和生	水野 宏二	中島 武久	宮崎 健一	東山 博	川越 (入間)	玉岡 福彦
(川越)	(熊谷)	(蒲和)	(蒲和)	(入間)	(熊谷)	(久喜)	(川越)	(川越)	

監事	会計	理事
秋森 佑一 (春日部)	栗原 靖二 (浦和)	高橋 薩夫 (蕨)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (和光)	星野 青木 (蕨)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (入間)	笠森 原嶋 (蕨)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 譲 (和光)	森 康裕 (東松山)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 靖二 (入間)	茂弘 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	栗原 昭男 (春日部)	裕正道 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 昭子 (春日部)	明雄 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	康夫 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 靖二 (春日部)	裕弘資 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 譲 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 靖二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 靖二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 靖二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静二 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	稲葉 賢治 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	山崎 蒼子 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	蒲田 秀一 (春日部)	和光 (伊奈)
秋森 佑一 (春日部)	楳本 静	

## 浦和連協

### 四〇周年も無事終了

今年度は新たな門出となります。会員数は年々減少していますが、散策・学習会・クラブ活動交流会、文化祭を三本柱として会員の皆さんに、健康で生きがいのある日々を過ごしてもらおう内容を充実させて提供していきたいと考えています。

#### 浦和連協事業計画

- 六月七日（水） ゆり園・狭山湖散策
- 九月六日（水） グラウンド・ゴルフ大会
- 十月一日（日） 赤い羽根街頭募金
- 十一月九日（木） 学習会・クラブ活動交流会
- 二月七日（水）～九日（金） 第十回 文化祭
- 随时その他、各期主催の交流学習会の実施。

## 熊谷連協

本年度は、一般課程 1 期、専攻課程 2 期合計 3 期の会員 126 名を迎えて、期の総数は 27 期、会員数は 1,431 名でスタートしました。

本年度も「明るく、楽しく、元気よく！」をモットーに恒例の三大事業「学習会」、「文化祭」

それに「芸能祭」を国宝「聖天様」（しょうでんさま）のある妻沼（めぬま）地区で開催、また熊連協には社交ダンス部、ターゲット・バードゴルフ部及びグラウンド・ゴルフ部があり、各部とも楽しい行事を、また「熊谷スポーツ文化公園」で花壇管理のボランティア活動をそれぞれ楽しく実施する予定です。

#### 川越連協事業計画

- 6月22日（木） 川連協創立 40周年記念のつどい
- 9月22日（金） グラウンド・ゴルフ大会

川越連協事業計画のことが会員の一人ひとりに見えるようになります。諸先輩が築きあげていただきた風通しの良さを継続していくつもりです。

昨年以上に調和と協調を重視、会員一人ひとりの意見や考えを聞き、理事会に於いても本音で語り合えるようにしたいと思います。会員の声は謙虚に受けとめ、各期の抱える諸問題や共通の課題を真摯に議論したうえで、それが会員の一人ひとりに見えるようにしたいと思います。

諸先輩が築きあげていただきた風通しの良さを継続していくつもりです。

## 川越連協

昨年以上に調和と協調を重視、会員一人ひとりの意見や考えを聞き、理事会に於いても本音で語り合えるようにしたいと思います。会員の声は謙虚に受けとめ、各期の抱える諸問題や共通の課題を真摯に議論したうえで、それが会員の一人ひとりに見えるようになります。諸先輩が築きあげていただきた風通しの良さを継続していくつもりです。

昨年以上に調和と協調を重視、会員一人ひとりの意見や考えを聞き、理事会に於いても本音で語り合えるようにしたいと思います。会員の声は謙虚に受けとめ、各期の抱える諸問題や共通の課題を真摯に議論したうえで、それが会員の一人ひとりに見えるようになります。諸先輩が築きあげていただきた風通しの良さを継続していくつもりです。

## 久喜連協

平成 29 年度は 39 期 88 名が新平成 29 年度より久喜連協に名称を変更し新たな気持ちで校友会のスタートの年となりました。

- 1月10日（金）～15日（水） 久喜連協事業計画
- 1月10日（金）～15日（水） グラウンド・ゴルフ大会
- 1月10日（金）～15日（水） 合同文化祭
- 1月10日（金）～15日（水） 公開学習会
- 1月16日（火） 初詣日帰りバス旅行

平成 30 年 2 月予定 場所未定

平成 29 年度は 39 期 88 名が新平成 29 年度より久喜連協に名称を変更し新たな気持ちで校友会のスタートの年となりました。

平成 29 年度は 40 期 84 名が新規加入し総会員数 782 名で 25 期から 40 期で運営します。

連協で今年から募金活動を行う会員減少の中魅力ある校友会にし、一層各期の交流・親睦を深め健康でいきがいの有る校友会をめざします。

## 蕨連協

### 活動方針・抱負

今年の春先は、寒暖の差が激しく、思つたより桜の花が長く咲き続け、長く楽しむことが出来嬉しく思いました。さて蕨連絡協議会は特別イベントを毎年開催しております。平成 28 年 1 月からの開催場所の決定に始まり、26 期、27 期が中心になり、特別プロジェクトが動き始めました。

例年特別イベントは通常 7 月に開催されていましたが、蕨市民会館の都合で 6 月下旬に決定しました。現在はイベント内容が決まり、広報活動を優先して活動し、観客動員数の確保に向け頑張っています。

その他フオーケダンス大会、グラウンド・ゴルフ大会等行事は、沢山ありますが、蕨各期会長の協力を得て蕨連協の活動を進めていきたいと思っています。

萩 原 正 信

○文化祭 9 月下旬  
○交流事業 10 月下旬頃  
○芸能祭 2 月上旬

## 東松山連協

### 防災を考えるとき・・・ 「防災ボランティア」活動

今年も大幅な会員減少となりましたが、結果として、期を超えて、全員の顔が見える集団となりました。当番制の運営ではなく、やりたいことを楽しくやれる運営体制に変えました。新規入会の負担を少しでも減らせればと考えた運営体制です。今年も、東松山学園の伝統的な芸能と文化を楽しめる一年にしたいと思います。事業としては、

日ごろの成果の発表の場としての文化祭と芸能祭の他、会員相互の交流を図ることを目的とした交流事業を行います。来年は、東松山嵐山学園の皆さんのが入会を期待したいと思います。

事業計画

○文化祭	9 月下旬
○交流事業	10 月下旬頃
○芸能祭	2 月上旬

## 伊奈連協

### 防災を考えるとき・・・ 「防災ボランティア」活動

地震の起きる可能性、それは「モシモ」ではなく「イツモ」あるのです。だから、特別なことをするのではなく「イツモ」の生活の中の一部として地震に備える。

正解を求めるのではなく成解を創りだす。地域のことは地域で話し合って町なりの応えを導き出すことが大切になります。挨拶をしていますか。日頃から隣近所が挨拶を交わし、仲良く声掛け合いの暮らしをする。どんな知識よりも大きな「防災力」となります。

倒壊せず脱出が可能な家にしておく、町が安全であることは地震多発国日本の場合、地震を前提に考えていくことは、より住みやすい都市を創ることにも繋がるのではないか。か。

(伊奈連協 矢島 記)

## 春日部連協

春連協 29 年度は、一般課程 2 期専攻課程 2 期の新加入会員を迎えて 1177 名でスタートします。

卒業して校友会に入れて頂いた結果、大変多くの同期生、先輩・後輩に恵まれるだけでなく、各行事を通じて他校との交流も経験させて頂きました。色々な活動参加する機会が多いことが、一般の方より、校友会員の方が、健康寿命を延ばしているかもしれません。それないというものです。私は、そうかも知れないと考えています。「共楽」共に楽しむ活動をしていることが、自分の健康寿命を延ばしていると感じる事ができれば、少しくらいの分担作業「共助」は、進んでやりたいと思つて下さるでしょう。その為には、「共楽」が、継続可能な仕組みづくりに取り組みたいと考えています。そうすれば校友会の魅力も、もつと増す事になると思います。

(春連協 鷹取 弘資)

○ 5月	定期総会	入間連協事業計画
○ 6月	第1回理事会	ニケーション＆飲みニュケーションにより親睦の輪・和・話が広がっていくことが一番かと思います。
○ 9月	第2回理事会	業を通じた仲間づくり、コミュニケーションを通じた仲間づくり、コミュニケーションにより親睦の輪・和・話が広がっていくことが一番かと思
○ 12月	第3回理事会	業を通じた仲間づくり、コミュニケーションにより親睦の輪・和・話が広がっていくことが一番かと思
○ 2月	第4回理事会	業を通じた仲間づくり、コミュニケーションにより親睦の輪・和・話が広がっていくことが一番かと思
	文化祭	業を通じた仲間づくり、コミュニケーションにより親睦の輪・和・話が広がっていくことが一番かと思
	学習会	業を通じた仲間づくり、コミュニケーションにより親睦の輪・和・話が広がっていくことが一番かと思

入間連協 水野 宏一

なお、昨年に引き続き文化祭開催時に古切手等を回収し施設に寄付を予定。

蒲田秀男

まだ校友会として誕生したばかりで、手探りの状況です。他に寄付を予定。

入間連協は第8期生を迎える総勢427名となりました。会員のモットーは、「明るく、楽しく、元気よく、ピンピンころりで」です。会員それぞれ、各期校友会事業・クラブ活動・入間連協事業を通じた仲間づくり、コミュニケーションにより親睦の輪・和・話が広がっていくことが一番かと思

## 入間連協

## 和光学園第一期校友会

### 満足度高い校友会を目指して！

昨年和光学園が開校し、今年四月に「和光学園第一期校友会」が発足しました。校友会員数は五十一名（加入率七十九%）。和光学園連協は来年からとなりますが、第一期校友会員相互の絆を強め、満足度を上げるべく次の四本柱をベースに事業計画を現在検討中です。(1) 学習会、(2) 屋外イベント、(3) 見学会、(4) ボランティア活動。

平成 28 年度決算の概要	
収入額	947,395 円
内訳	
会費	689,900 円
① 雑収入	5 円
② 前期繰越	257,490 円
支出額	771,544 円
内訳	
① 事業費	614,337 円
② 事業協力費	91,728 円
③ 事務局費	45,440 円
④ 傷害保険料	20,039 円
⑤ 予備費	0 円

平成 29 年度予算の概要	
収入額	810,654 円
内訳	
① 会費	634,800 円
② 雑収入	3 円
③ 前期繰越	175,851 円
支出額	810,654 円
内訳	
① 事業費	613,000 円
② 事業協力費	80,000 円
③ 事務局費	45,000 円
④ 傷害保険料	22,000 円
⑤ 予備費	50,654 円

### ◇県連協事業部会・委員会（大会等の打合わせ）

- ①社会活動部 委員会 7月 19 日（水）
- ②社交ダンスの集い 部会 7月 14 日（金）
- ③グラウンド・ゴルフ部会 7月 21 日（金）
- ④広報部会 7月 25 日（火）
- ⑤芸能祭部会 7月 28 日（金）

（打ち合わせ会場は県民活動総合センター）

### ◇事業

- (1) 社交ダンスの集い 担当：伊奈・東松山連協  
蓮田市民体育館（パルシー） 10月 6 日（金）
  - (2) グラウンド・ゴルフ交歓大会 担当：蕨・伊奈連協  
熊谷スポーツ文化公園くまがやドーム 10月 25 日（水）
  - (3) 第 6 回 芸能祭 担当：熊谷・川越連協  
川越市 やまぶき会館 3月 7 日（水）
  - (4) 第 1 回 公開学習（公財）いきいき埼玉  
大宮ソニックスシティ 大ホール 7月 12 日（水）
- 卒業生による社会貢献参加活動事例発表と講演
- 入間学園 7 期生及び東松山学園 29 期生
  - 講演 元 NHK アンサー：広瀬久美子氏
  - (5) 「県連協ニュース」H29 年 6 末 担当 熊連協  
「県連協会報 46 号」H30 年 3 末 //

## 公益財団法人いきいき埼玉からのお知らせ

### ●彩の国いきがい大学聴講生募集！

いきがい大学の一部を開放し、体験いただく聴講生を募集します。聴講生になると、平成 30 年度のいきがい大学の一般課程に優先的に入学することができます。ぜひ、ご家族やご友人にご案内ください。

記

- ①会場：熊谷・川越・春日部・入間学園
- ②日程：8 月～12 月のうちの 3 日間
- ③受講料：2,000 円
- ④申込み：所定の申込書にてお申込みください。（8 月 4 日必着）

※詳しくは下記までお問合せください。

問合せ：高齢者いきがい支援担当

電話：048-728-7951（土日祝を除く 9:00～17:00）

<http://www.ikg-saitama.jp>

### ◇いきいき埼玉事業



- ①高齢者創作展  
9月 29 日（金）  
さいたま市プラザノース
- ②彩の国いきいきフェスティバル  
10月 22 日（日）
- ③第 2 回公開学習会  
12月 20 日（水）  
県民活動総合センター  
大宮ソニックスティ  
大ホール

### ◇編集後記◇

この 県連協ニュースの編集にあたり、各連協の会長及び広報部担当の方々にご協力を頂き、発行することが出来ました。各学園の事業計画を掲載することで、活発な活動状況を会員の皆さまにご案内出来た事に感謝いたします。

平成 29 年 6 月

作成幹事	いきがい大学熊谷学園
校友会連絡協議会	広報部